

■ 修士論文要旨

中国東北地域の物流事業の発展に関する一考察

— 大連港における物流戦略について —

A Study of Development of Distribution Business in the Northeast Region of China

— On Distribution Strategy in Dalian Port —

神奈川大学大学院 経営学研究科

国際経営専攻 博士前期課程

劉 佳 星

Jia Xing Liu

■ キーワード

中国物流の発展段階 中国東北三省の物流事業 大連港 港経済

【問題意識】

1978年12月に中国が改革開放政策を実施して以来、中国の経済成長は著しい。ここ数年、中国経済の発展に伴い、多くの物流集散地と交通の要所にある物流業が急速に発展したのである。

約100年前にロシアによって建設が開始され、日露戦争によって日本が引き継いだ大連港大連市は、新中国の下での東北における社会主義重工業建設と、1980年代以降の対外開放政策を経て、現在、中国東北地域の対外窓口としての発展を遂げている。そして、2004年秋以降の新たな国家プロジェクト、「中国東北老工業基地振興戦略」の実施を通して、東北アジアの物流並びに貿易、商業・金融活動の中心として新たな発展を開始している。

大連港は、東北三省と内蒙古自治区東部を背後圏としている。この地域は、自然資源に恵まれ、開発の進んだ工業地域となっている。大連港は、鉄道と高速道路によりこれら地域と結ばれている。対外的には、160の国と地域との交流があり、コ

ンテナ定期船も日本をはじめ、韓国、香港、シンガポール、米国、欧州などとの間で運航を行っている。

2005年の貨物取扱量は1.7億トン（前年比17.6%増）、コンテナ取扱量は268.6万TEU（同21.5%増）。2010年には、貨物取扱量2.5億トン、コンテナ取扱量800万TEUを目指すである。

しかし、中国の物流業は先進国に比べて非常に立ち遅れている。産業としての中国の物流業は、まだスタートした段階にある。その一方で、物流サービスに対する需要は急速に高まってきている。例えば全国の倉庫は流通領域だけで3億㎡に達していますが、管理能力と配送機能に欠けるため利用率は40%弱、しかも在庫期間が先進国の数日間に対し1～2ヶ月と、商品の生産から販売に要する時間の90%以上を占めている。このため、多くの企業で物流費用が商品価格の40%を超え、対GDPコスト比率も先進国とはまだ大きな開きがある。

そして大連地域には、低いレベルで重複建設さ

れた港が多く、競争力が低い。したがって、各港が低価格競争に走ったため、営利能力と拡張能力の低下を招いており、市場によるいっそうの調整が必要である。古い港区は都市部に囲まれて発展の余地がなく、道路と鉄道の輸送能力も輸送量増加の需要を満たせない。新しい港区は道路と鉄道の輸送網がまだ完備されていないため、港の発展を制約したである。

この研究は中国東北地域の物流事業の発展について考察し、とくに大連港の港湾物流を中心にして、中国東北三省の物流事業の発展における大連港並び大連市の役割、大連港における物流の現状と今後の発展戦略、今後の課題、提案について論述、解明するものである。

【論文構成】

以上の問題意識を基に、本論文は4章に分け、次のように展開する。

第Ⅰ章は、中国物流発展の経済環境、概要について考察し、物流の発展段階の原理に比較して、中国物流の発展段階、特徴を分析する。

第Ⅱ章は、東北地域の経済状況、中国東北三省における物流の実態・諸問題・今後の展望を考察するものである。最後に中国東北三省の物流事業の発展における大連港並び大連市の役割を論述し、東北三省の物流事業の発展における大連港の果たすことができる重要性を提示する。

第Ⅲ章は、中国大連港の現状を中心にして、大連市の概要、大連経済技術開発区における優遇政策・経済データを考察し、そして、大連港の港勢を論述する。

第Ⅳ章は、大連港の発展戦略を中心にして、大連保税區と大連輸出加工区の概要を紹介し、両者の機能を比較する。そして大連保税區の新たな発展動向、大連保税區と大連港の連動発展戦略を研究し、最後に東北三省の振興と大連市の関係、東北アジアの地域経済協力と大連港並びに大連市の役割を論述するものである。

終章では、東北三省の振興と大連市の関係、東北アジアの地域経済協力と大連港並びに大連市の役割、今後の課題を展望して、結論をまとめていく。

大連は港湾都市の機能を十分に発揮しながら国際世界に直面し、東北と環渤海に及ぼし、地域経済の共同発展の中で、さらなる発展を図るにしなければならない。スローガンとしては、東北地区の重要な国際交通中枢、先進的技術の工業基地、北東アジア地域の商業貿易、金融力、観光、情報センターになるということである。この目標を達成するためには、環渤海、東北および大連の実態に応じて、都市機能と経済発展の関係を適切に処理しなければならない。

大連港を、多機能、全方位、現代的な国際中心港に建設し、東北地区の商品集散のために、以下三つの問題を解決するべきと考えられる。①インフラ整備の更なる改善 ②物流人材の育成 ③制度面の標準化。これから更に完全な交通運輸サービスを提供し、地域経済の共同発展の中、もっと広大な国際市場競争で大きな利益を獲得できるように努力しなければならない。